

「県外及び県内避難者実態調査」結果

令和元年 12 月

岩手県復興局生活再建課

「県外及び県内避難者実態調査」結果

1 調査目的

県外及び県内他市町村への避難者の実態を把握し、帰郷希望者の有無等を確認するとともに、避難者に係る今後の支援方策についての検討資料とするため実施するもの。

2 調査の概要

(1) 調査対象

東日本大震災津波により本県で被災し、被災元市町村を離れ、県内外に避難している 3,557 世帯（全国避難者情報システム登録世帯及び市町村・都道府県が独自に避難者として把握している世帯）

(2) 調査方法

郵便による調査

(3) 調査期間

- ・ 令和元年 5 月～9 月（1 回目：5 月～6 月、2 回目：7 月～8 月）
- ・ 1 回目の調査で回答の無い世帯に対して 2 回目の調査を実施した。

(4) 調査項目

問 1 岩手県内、沿岸市町村への帰郷予定

問 2 現在避難生活を送る上で困っていること、又は、岩手県内、沿岸市町村に帰郷する上で心配なこと

問 3 岩手県から情報提供の希望の有無（現在情報提供を受けている方のみ回答）

(5) 委託先

いわて内陸避難者支援センター

(6) 回収結果

全体	1,426 世帯（回収率 40.1%）
うち県外避難者名簿登載者	295 世帯（回収率 30.2%）
うち県内避難者名簿登載者	1,131 世帯（回収率 43.8%）

【留意事項】

- 1 割合は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。
- 2 図表等で選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。

3 回答世帯の状況

(1) 被災時の居住地

	回答数	割合
宮古市	183	12.8%
山田町	180	12.6%
大槌町	329	23.1%
釜石市	258	18.1%
大船渡市	139	9.7%
陸前高田市	293	20.5%
その他	44	3.1%
計	1,426	100.0%

(2) 現在の居住地

【県外】

	回答数	割合
北海道・東北	91	30.8%
関東	159	53.9%
中部	19	6.4%
近畿	9	3.1%
中国・四国	11	3.7%
九州・沖縄	6	2.0%
計	295	100.0%

【県内】

避難先	回答数	割合
盛岡市	337	29.8%
北上市	118	10.4%
花巻市	111	9.8%
一関市	59	5.2%
奥州市	56	5.0%
釜石市	54	4.8%
紫波町	53	4.7%
遠野市	53	4.7%
滝沢市	52	4.6%
陸前高田市	44	3.9%
宮古市	34	3.0%
その他	160	14.1%
計	1,131	100.0%

(3) 住家の被災状況

	回答数	割合
全壊	1,186	83.2%
大規模半壊	75	5.3%
半壊	25	1.8%
半壊解体	6	0.4%
その他(※)	62	4.3%
未回答	72	5.0%
計	1,426	100.0%

※ その他
一部損壊、床下浸水 等

(4) 現在の住家の状況

	回答数	割合
避難先（被災時の居住市町村以外）		
自宅再建（建築・購入）	564	39.6%
賃貸住宅（個人負担）	238	16.7%
賃貸住宅等（みなし仮設住宅）	112	7.9%
災害公営住宅	75	5.3%
親族・知人宅	124	8.7%
その他（※）	101	7.1%
避難先計 ①	1,214	85.1%
被災元（被災時の居住市町村）		
自宅再建（建築・購入）	85	6.0%
賃貸住宅（個人負担）	9	0.6%
災害公営住宅	25	1.8%
親族・知人宅	5	0.4%
その他（※）	10	0.7%
被災元計 ②	134	9.4%
未回答 ③	78	5.5%
計（①+②+③）	1,426	100.0%

※ その他
公営住宅、社宅、
特別養護老人ホーム 等

※ その他
公営住宅、自宅補修 等

(5) 被災者生活再建支援金（加算支援金）の受給状況

	回答数	割合
受給済み	849	59.5%
申請中	15	1.1%
今後申請予定	74	5.2%
その他（※）	294	20.6%
未回答	194	13.6%
計	1,426	100.0%

※ その他
災害公営住宅入居のため対象外、
一部損壊のため対象外、
分からない 等

4 調査結果の概要

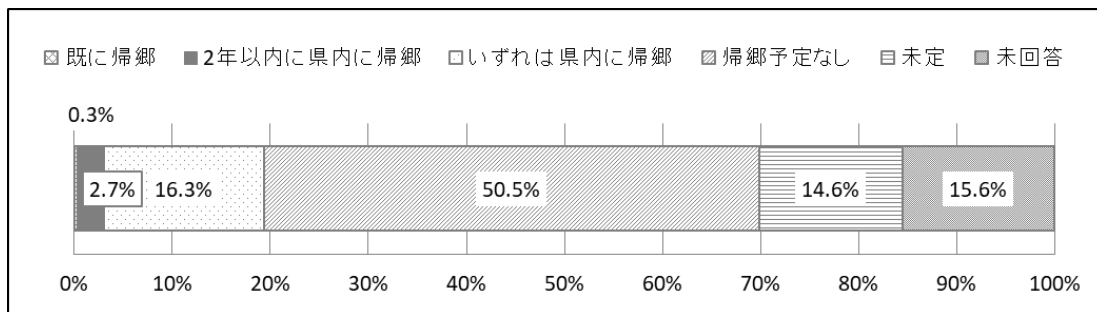
問1 岩手県内、被災元市町村への帰郷予定について教えてください。

県外避難者は、「既に帰郷している」、「概ね2年以内に岩手県内に帰郷する予定がある」、「いずれは岩手県内に帰郷したいが、当面は考えていない」を合わせた割合が19.3%となっている。

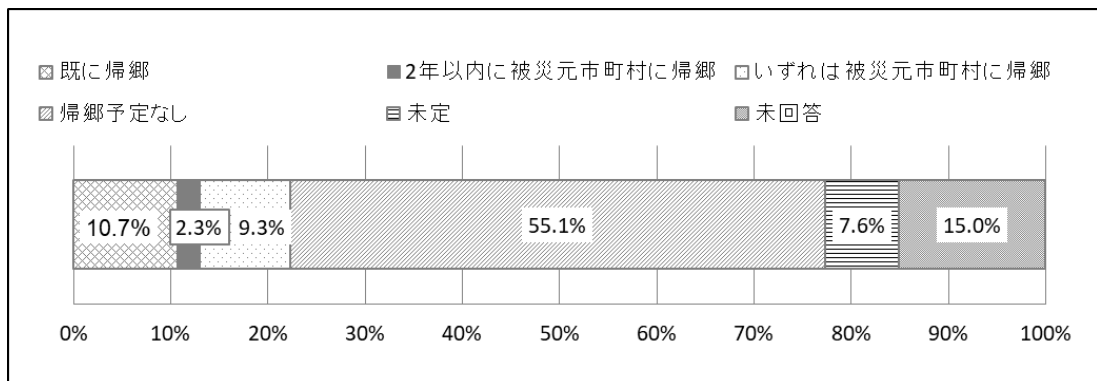
県内避難者は、「既に帰郷している」、「概ね2年以内に被災元市町村に帰郷する予定がある」、「いずれは被災元市町村に帰郷したいが、当面は考えていない」を合わせた割合が22.3%となっている。

県外、県内ともに、「帰郷する予定はない」の割合が最も高く、県外 50.5%、県内 55.1%、となっている。

【県外】

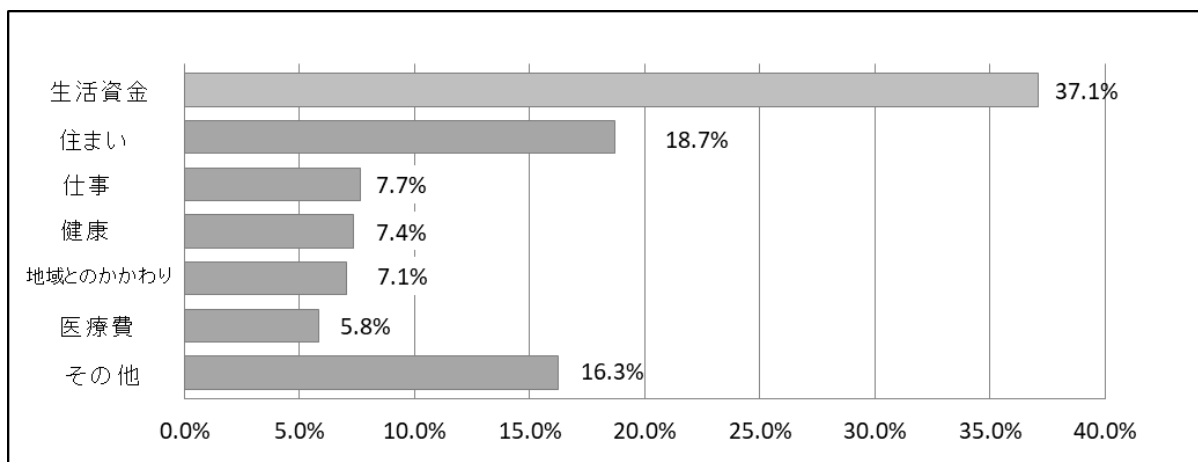


【県内】



問2 現在避難生活を送る上で困っていること、又は、岩手県内、沿岸市町村に帰郷する上で心配なことを教えてください。(自由記載)

記載された内容を分類すると、生活資金に関することが最も多く37.1%、次いで住まいに関すること18.7%、仕事に関すること7.7%、健康に関すること7.4%の順に多くなっている。

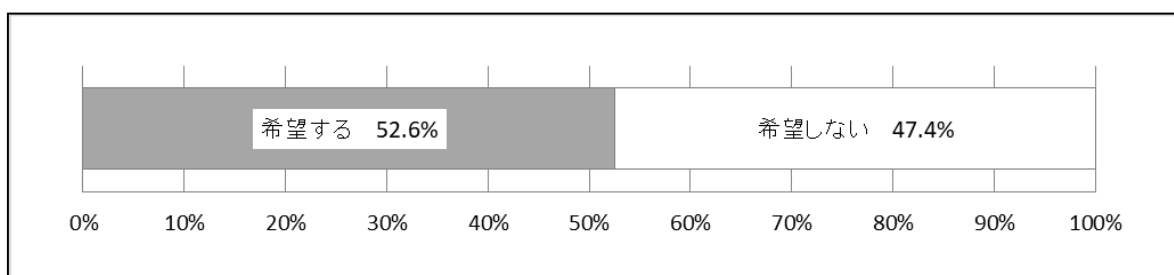


※ その他

お墓に関すること、県の対応への不満、近況の報告 等

問3 岩手県から情報提供の希望の有無(現在情報提供を受けている方のみ回答)

今後も情報提供を「希望する」が52.6%、「希望しない」が47.4%となっている。



問2 困っていること、心配なこと（自由記載・主なもの） ※ 原文のとおり記載しています。

【県外】

分類	内容
生活資金	災害援護資金の返済で生活が苦しく、返済不可能で困っています。
住まい	岩手県に戻って仕事があるのか学校があるのか、住むところ、お金がどのくらいかかるのか。
仕事	岩手への帰郷をしたいが、就労先がない。
健康	高齢で健康面が不安。
地域とのかかわり	慣れ親しんだ知人・友人がいない。
その他	住んでいた土地や墓地を放置しているので心配。

【県内】

分類	内容
生活資金	1人で生活していますが、病気等で仕事ができなくなり、老後の生活資金が不安です。
住まい	今後の住まいについて、はっきりと決まっていないので、この先どうなるのか不安です。
仕事	仕事を転職した方が良いか（低賃金）悩んでいます。
健康	年齢が高いため、身体のこと・生活全般に不安を感じています。
医療費	現在一番不安に思っていることは健康のことです。東日本大震災高齢者一部負担金免除の被災者支援の継続を希望します。
地域とのかかわり	環境や住まいにあまりなじめない、身近に話せる人がいないなど・・・
その他	お墓と山がまだそのまま郷里にありどのようにしたらよいか悩んでいる。